

28日 木曜

箴言

30:1 マサの人ヤケの子アグルのことば。イティエルに告げ、イティエルとウカルに告げたことば。

30:2 まことに、私は粗野で、人ではない。私には人間としての分別がない。

30:3 私はまだ知恵も学ばず、聖なる方の知識も持っていない。

30:4 だれが天に上り、また降りて来たのか。だれが風を両手のひらに集めたのか。だれが水を衣のうちに包んだのか。だれが地のすべての限界を堅く定めたのか。その名は何か、その子の名は何か。あなたは確かに知っている。

30:5 神のことばは、すべて精錬されている。神は、ご自分に身を避ける者の盾。

30:6 神のことばに付け足しをしてはならない。神があなたを責めて、あなたが偽り者とされないために。

30:7 二つのことをあなたにお願いします。私が死なないうちに、それをかなえてください。

30:8 むなしいことと偽りのことばを、私から遠ざけてください。貧しさも富も私に与えず、ただ、私に定められた分の食物で、私を養ってください。

30:9 私が満腹してあなたを否み、「【主】とはだれだ」と言わないように。また、私が貧しくなって盗みをし、私の神の御名を汚すことのないように。

30:10 しもべのことを、その主人に中傷してはならない。そうでないと、彼はあなたをのしり、あなたは罰を受けることになる。

30:11 自分の父をのしり、自分の母をたたえない世代。



30:12 自分をきよいと見るが、汚物を洗い落とさない世代。

30:13 なんとも、その目が高ぶり、まぶたが上がっている世代。

30:14 歯が剣のようで、牙が刀のような世代。彼らは、地の苦しむ者を、人々の中の貧しい者を食い尽くす。

4節にあるように、神の前には、自分自身は何も知らないのと同じであると知りましょう。

「神のことばは精錬」されています。余計な者はなく、また状況や心情にぴったりだということでしょう。神のことばを求め、従いましょう。

8節にあるように、「貧しさも富」も、弱い人間にとっては道を見失う要因になるのだと、謙遜に考えましょう。現代人は両方を感じるものです。

12節にあるように、自分のきよくないところを認めることが大切です。それを洗うことはもっと大切です。きよさは主イエスの十字架の力でもたらされます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

